

平成15年度 分野チェックリスト

分野名	安全・安心分野	分野番号	1
分野担当部	都市整備部	関連部	教育委員会事務局、政策経営部

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化							
番号	指標名	単位	指標値			目標値	
			12年度	13年度	14年度	17	年度末
1	犯罪発生率	件/万人	175	209	218		毎年減
2	駅前放置自転車の台数	台	9,189	9,023	8,485		4,512
3	狭あい道路を整備した率	%	14.0	15.2	16.3		20.0
4	杉並区が安全・安心なまちと思う区民の割合	%		58.4	57.7		毎年増
5	交通事故死傷者比率	件/万人	83	79	77		毎年5%減

指標の状況、定義は裏面をご覧ください。

杉並区政チェックリスト(政策指標)の変化の状況(分析)	
1.	都内における平成14年中の全刑法犯(交通関係の業務上過失致死傷罪を除く。)の認知件数は、301,913件で、平成13年と比較して9,334件(3.2%)増加し、初めて30万件を超え、戦後最悪を更新した。また、犯罪は凶悪化・低年齢化する傾向にある。同様に杉並区内でも認知件数の増加傾向がみられる。今後は、ごみの不法投棄がない、駅前に放置自転車がな、公園等に落書きがないなど、犯罪が起りにくい環境をつくり出し、犯罪発生を予防するまちづくりを区民や関係機関とともに進めることが求められている。
2.	駅前放置自転車台数は、平成4年度には1日平均11,946台であったが、その後減少し、平成8年度には6,181台となった。その後増加に転じ、平成13年度には9,023台、平成14年度は8,485台となった。杉並区では、区民で構成された「杉並区サイクルアクションプログラムに関する懇談会」からの提言を基に「自転車のまちづくり」に向けた各種事業の進捗を図るため、数値目標を設定し、その達成に取り組んでいる。
3.	狭あい道路の整備率は、民間住宅需要にあわせて順調に伸びているが、今後の景気状況の変化とともに伸び率の増減があると見込まれる。消防活動困難区域の解消など災害に強い安全な都市基盤整備のため、区民及び事業者に協力を求め、整備率を上げていく必要がある。
4.	この指標は、新たに設定したものであり、評価にあたっては今後継続した調査によって、中期的な傾向を把握していく必要がある。
5.	都内の交通事故発生件数は、平成12年の91,380件(死傷者105,486人)をピークに、13年90,012件(死傷者103,631人)、14年88,512件(死傷者101,413人)と減少傾向にある。杉並区における交通事故発生件数、死傷者数も同様の傾向にある。また、平成14年度の人口10万人あたりの死傷者数は、全国924人、東京都826人より、杉並区は767人と低い。今後も目標達成に向けて、交通安全施設などの整備、交通ルール・マナー教育などの対策を区民・関係機関の協力のもとに取り組んでいく。

チェックリストの状況(参考)

番号	名称	関連データ(他自治体との比較等)		
	定義			
1	犯罪発生率	人口1万人当り犯罪認知件数	平成11年	平成12年
	人口1万人あたりの件数 = 区内で発生した刑法犯 ÷ 各年1月1日の人口 (住基) × 10,000 (「警視庁の統計」、「杉並区統計書」から)	東京都区部 横浜市 川崎市 千葉市 (「特別区の統計」から)	252.1 160.4 199.8 292.4	270.1 197.0 215.7 353.6
2	駅前放置自転車の台数	平成12年10月	平成13年10月	平成14年10月
	区内の駅周辺に放置される1日平均の放置自転車の台数 (「杉並区統計書」から)	世田谷区 27駅13,688台 中野区 11駅 7,127台 杉並区 17駅10,796台 豊島区 11駅12,600台 板橋区 22駅10,824台 練馬区 16駅 8,298台	31駅16,303台 11駅 4,046台 15駅 9,357台 12駅 9,377台 22駅11,225台 13駅 6,692台	25駅13,704台 11駅 6,918台 18駅 8,529台 12駅 7,848台 22駅10,453台 17駅 7,277台 (東京都生活文化局調査「駅前放置自転車の現況と対策」から、放置のある駅数と放置自転車等の台数)
3	狭あい道路を整備した率	平成13年度狭あい道路の整備完了率		
	整備延長距離 ÷ 42条2項道路総延長距離 × 2(両側)	豊島区 19.6% 大田区 6.0% 参考: 東京都区部の平成13年度末の都市計画道路完成率57%		
4	杉並区が安全・安心なまちと思う区民の割合	平成13年度は参考数値。		
	「杉並区区民意向調査」から			
5	交通事故死傷者比率	交通事故発生件数(人身事故)の1万人当り	平成11年	平成12年
	人口1万人あたりの件数 = 区内で発生した交通事故による死傷者 ÷ 各年 1月1日の人口(住基) × 10,000 (「警視庁の統計」、「杉並区統計書」から)	東京都区部 横浜市 川崎市 千葉市 (「特別区の統計」から)	61.7 70.1 63.0 61.6	75.7 74.9 67.3 69.2
特記事項				